

9月24日(月)～9月30日(日)は

結核予防週間！！

応援します！職場の健康づくり！！

この通信は、働き盛りの方々が健康で安心して働くことができるように、健康づくりに関する情報等を発信するものです。少しでも、皆様の健康づくりに役立てていただければ幸いです。

結核は昔の病気？

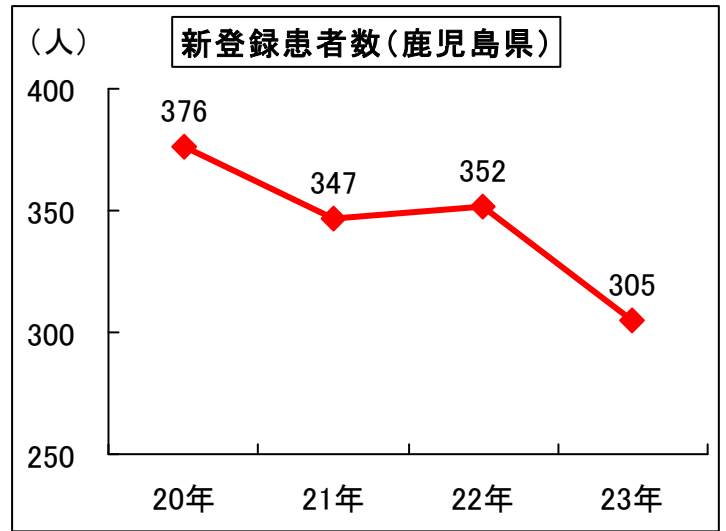
結核は現代の病気です！

過去の病気と置いていたら大間違いです。

全国では、今でも1日に64人の新しい患者が発生し、6人が命を落としている日本の重大な感染症です。

鹿児島県でも毎年約300人の新しい患者が発生し、毎年約30人が命を落としています。

(新登録患者数とは…一年間に新たに結核患者として登録された者の数)



働き盛り世代の発見が遅れている！

職場の中堅として多くの人と接しながら仕事をし、また家庭では親である働き盛りの人の発見の遅れは、次世代に結核を残すこととなります。

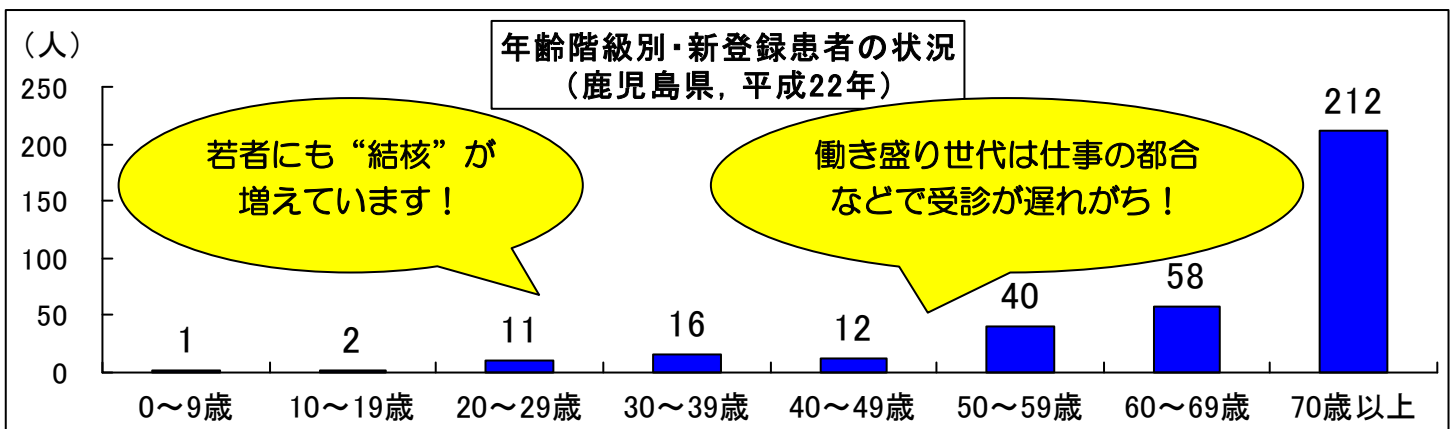
感染者がますます高齢化！

結核患者の半数以上は高齢者です。これは、何らかの理由で抵抗力や免疫力が低下し、過去に感染した結核菌が再燃するためと言われています。

若い世代の結核も要注意！

若い世代の多くは結核菌に未感染のため、菌を吸い込むと感染しやすく、発症が早い傾向が見られます。

また、若い世代の集団感染も問題になっています。これは都会への移動、海外との交流、アルバイト、不特定多数の人が出入りする場所を利用するなど、感染の機会が増えていることが原因と考えられます。不規則な生活も発病のリスクを高めています。



知って得する結核Q&A

Q. 結核はどう感染するの？

A. 何より怖いのは、気づかずに周りの人々にうつしてしまうこと！

結核とは、結核菌によって主に肺に炎症が起こる病気です。重症の結核患者の咳などで結核菌が飛び散り、周りの人がそれを直接吸い込むことで感染します。

ただし、結核に感染しても必ず発病するわけではなく、通常は免疫力により結核菌の増殖を抑え込みます。免疫力での結核菌の増殖を抑えきれなくなると結核を発病します。

Q. 結核は治るの？

A. 薬をきちんと飲めば治ります。

昔は多くの方が亡くなりました。今は薬(抗結核薬等)が開発され、きちんと薬を飲めば治ります。

ただし、治療途中で薬を飲むのをやめてしまったり、指示された通りに薬を飲まなかったりすると、結核菌が薬に対して抵抗力(耐性)を持ってしまい、薬の効かない結核菌(耐性菌)になってしまう可能性があります。

結核と診断されたなら、医師の指示を守って、治療終了まできちんと薬を飲み続けることが最も重要です。

(出典：公益財団法人結核予防会)

風邪のようで風邪じゃない、人から人へうつる「感染症」です！



微熱が
2週間以上続く

咳(せき)が
2週間以上続く



急に
体重が
減った

**こんな症状に
要注意！**

からだ
が
だるい



こんな時は

～ おうちでできる予防法！ ～



睡眠を十分にとる



適度に運動する



好き嫌いをせず
バランスのとれた
食事をする

結核は、免疫力の低下などで発症を引き起こすので、普段から健康的な生活を心がけ免疫力を高めておこう！



<問い合わせ先>

北薩地域振興局保健福祉環境部
(川薩保健所) 健康企画課
健康増進係：古屋

〒895-0041

薩摩川内市隈之城町 228-1

TEL：0996(23)3165

FAX：0996(20)2127